

刊夕日六十二月八

常磐毒日新聞

支店 一部全完 一月五拾五拾 郵費五拾
原稿料 五拾五拾 二文字 一行 金五拾
日曜 祭日の翌日 休刊
発行所 常磐毒日新聞社
電話 六三〇
印刷所 常磐毒日新聞社

北滿便り

日本憲兵隊
草野村出身
邊渡美太郎

は勿論信は得難きも支那當局の調査に依れば左の如し
一九二四年の梅安警察署の調査

所在地 戸數 計
安 三、八四三
新安街三、九七七
東京城 四、〇六六
海林 四、〇三三
掖河 四、〇五二
計 三、三三六 一四、三三七

然るに此の八ヶ年間に於ての警察區域は、第六區五虎林、第七區砂蘭鎮、第八區橫道河子、第九區南湖頭の四區、新に増加し居り一方鐵道沿線附屬地及び警察區以外の保衛團管轄地帯鮮人移住者(約六千人)を加算すれば、推定人口二十二三萬人と見て大差あるまい。猶一九二八年の調査に依れば、寧古塔の人口は約三千四百人なり。現在ぬい古塔地方にある鮮人には二種類あつて、一は古くより移住し來り、現在にては全く支

那人化し、支那民すら自國民と看做してゐるもので、其數約千四百人あり。
其他は大正三年に移住して來た醫師金演元を始めとして、年々増加を見、特に大正六年牡丹江下流花蓮池に於ける鮮農の稻作成功以來著しく鮮人の移住者を誘致することとなり、昭和四年末にはぬい古塔市内四百七十人、市外二百六十一人を算する様になつた。之等の鮮人は支那服を纏へ風俗、習慣、言語等悉く純然なる故習を守つてゐる。

日本人としては日露戰役前後から來住せしものもあつたが、定住せしものは明治四十一年、長嶺縣人の山崎馬太氏を草分とする。
大正七年頃の好景氣時代は、邦人全盛時代で、その數百十名に及びしが幾何もなくして露貨の下落、それに次ぐ數度の火災、馬賊來襲、戰禍等の爲め、漸減し事變前丈迄の定住者として僅か二十一一人(男九、女十二)の寂しさなりき。而して邦人は第一次兵變に際し吟爾賓方面に避難せるも○野○團の入城と共に歸還、應て同旅團の離れに伴ひ再び引揚げ、三度我が混成第〇〇〇團の入城に従ひ歸還せしも、第二回引揚後に於ける邦人家宅は反軍に

依つて、破壊、掠奪を被りしも吾が○團の入城に依つて救るゝるに至れり。現在日本人七十餘名に達し、益々増加の傾向あり。



結婚前後

創作
『黒土會』
山田案々子

彼女は今日も又一人で田圃へ出なければならぬ。なかつた。何時もの様に朝食が終ると夫は未だ體がはつきりしないからと云つて奥へ引込んで終つた。そして彼は裏の二階へ上つてねこを弄んで煙草を吸つたり、講談本を讀んだり、晝寝をしたり、無意味な腐つた様な日を暮らすことだらう。

彼女がかうして一寸した事でも痛にして働く事を嫌がる夫を悲しく、むしる哀れに思ひた。
爽快に晴れ渡つた六月の空、空と青田を區切る地平線、芒莫たる田圃には一番除草を急ぐ幾十百の星の様な白い笠が動いてゐる。
親と子、夫と妻、兄と弟三々五々群れてゐる中に彼女だけはたつた一人ぼつちだつた。
みんな楽し相に或は語り或は歌ふ中に彼女だけは黙

々と曇つた心で田の草をとらねばならなかつた。大空の下に働らく健康な身には何の苦惱も不平もあるべき筈はないのに、彼女のこの暗い心は
叱られて叱られて
口には出さねど目に涙
二人のお里はあの山を越えて向ふの花の村
ほんに花見は何時の頃野を渡る風のまゝに流るゝ様な歌が聞えて來た。村岡の道夫さんだと彼女はすぐ分つた。

彼女が此の村へお嫁に來てから二度ばかり道で會つた事のある眉の濃い唇の固く締つた元氣な歌の好きな青年だつた。
二人のお里はあの山を越えて
向ふの花の村
今の歌によつて彼女はすぐ故郷を思ひ浮かべた。故郷!。此の村を二村おたり町に近い故郷。なつかしい故郷!!



逆境に泣く友よ

佐藤 一郎
友よ! 逆境に泣くな!
逆境は天のめぐみだ
見よ! 成功者の記録を……
友よ! 悲觀するな、失望するな
前途に輝やく希望を目標に
起て! 逆境何物ぞ……
熱だ、力だ、意氣だ
不屈不撓の精神だ
試験の鞭を嬉こんで受けよ
未來の光榮を得んが爲めに

美味!
芳醇!
宗正らひた
山崎合名會社
電話一〇番

看護婦急派
の求めに應
じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

印刷御用命
總は命御
て總は命御
常磐毒日印刷株式會社
電話三六〇番

クラクラフ
代理店長 松崎商店
大室屋
平町新川町(電一七二)
蠅蚊・南京虫・油虫・羽虫・蚤・虱退治に
ほんの少しで一たまりもなく死ぬ

質物一般
各種債券類
三井質店
平町四丁目川岸
電話六〇六番

季節御料理
柳川一人前 金二十五錢
うな井 金三十五錢
蒲燒 金五十五錢
右大々勉強出前迅速
◎滋養豊富! 風味美味!
是非一度御試食を……
大蒲燒・鳥料理
壽司・折詰仕出し
魚 榮
田町(電話四二四番)

模飛行機競技

優勝者には高さ

一尺の銀カッツ

何人の手に此の榮譽 第三回の大會開かる

季節の催しとして人気が呼んで居るいづみや玩具店主催本社後援の郡下模型飛行機競技は愈よ來る九月十八日午前九時から平第三小學校々庭に於て開催する事となり目下種々準備中であるが参加飛行機は

共同米入札

大浦農業倉庫の共同米販賣は昨廿五日同所にて行はれ

悲しい凱旋

弘前勇士の遺骨 廿八日平驛通過

弘前第八師團兵で日支事變の戦死者遺骨九個は廿八日午後一時五十分平驛着列車にて通過するので當日平町の各學校生徒並に青年團員、青年訓練所生徒は驛頭に是れを見送り弔意を表す事となつた

農業施設

平町の調査

縣では今回農家の救済策として各町村の農業土木事業に對して工費の五割を補助

縣青年体育大會へ本郡の陣容

反省と短評 (四)

七、走高跳
一米七五を運命の鍵と豫想したが、七〇でおしくも富澤失格したので火花散る激戦をみられなかつたことは残念でありまた一入淋しさを加へた、鈴木は七五、七八、八〇、と各一回で跳び

△で終つたことは偉とすべきである、しかも縣の新記録であり、一米六四の小丈夫としては見上げた出来栄である、これも三年來精進の賜なり、縣大會には郡山の佐藤が一米八五位の實力でがんばつてゐるから一

する事になつたので本日平町にも左記の如き農業土木の施設調査に關する通牒があつた

- △小開鑿
- △小用排水の改良
- △暗渠排水の小設備改良
- 並に新設

江名カマボコ業者が 自營上賃銀値下

石城郡江名町蒲鉾製造業組合では組合員中營業不振に陥り製造中止する者續出する有様なので昨廿五日午前十時より同業者二十餘名が漁業組合事務所にて協議會を開き職人賃金を従來より一時間に就いて各一錢づつの値下を爲し左記の如く決定した

性別	最低	最高
男	四錢	九錢
女	三錢	八錢

農蠶共同出荷

郡三坂合戸組合の養蠶實行組合では廿八日午後一時よ

日本低資の 突破萬四に實

工業者救済低利資金借入れ申込は本日迄に廿九組二百八十人に及び是の金額四十萬五千七百圓に達し尙希望者の申込があるもので六十萬圓を突破する豫想である

磐中ラケビー 東北豫選出場

磐城中等學校ラケビー部にては來月二十五日仙臺市管グラウンドに於て全日本ラケビー協會主催の下に行はれる東北豫選に出場すべく目下猛練習中である

隔離病舎

江名で改築

石城郡江名町の隔離病舎は腐朽甚しき爲め豫てより是が改築を計劃中の處愈々今年明兩年度の繼續事業として豫算を計上する事となつたので河野町長外町議二名は縣内各町村の病舎視察の爲め去る廿二日出發した

師範同窓支部

役員改選

既報福島師範學校石城支部同窓會は昨日午後一時より平第一小學校講堂に於て開き規則一部改正會費未納整理の件を協議し役員改選を行ひ左の如く決定したが出席者は百五十餘名にて頗る盛會であつた

磐女軍勝つ

第三校と競技

磐城高等女學校競技部にては昨日午前九時より同校グラウンドに於て平第三小學校児童と五十米、百米、四百リレー、走幅跳、走高跳、バスケットボールの試合を行つたが全部磐女の勝に來した

法曹磐陽對戰

曹團庭球部にては來る二十八日四倉町セメント會へ

遠征し同會社磐陽俱樂部と對戰すると

平町人事

- △一丁目二一 當時石城郡内郷村字綴六九和田長治氏三男剛
- △結婚 姻
- △紺屋町三八 木村末太郎氏(二四)石城郡大野村字横座五七須藤カネヨ(二三)
- △長橋町二五 加澤恒保氏(三〇)石城郡神谷村字瀬戸佐藤孝子(二三)
- △回死 亡
- △正月町十一 森田市次郎氏二女ミキ子(四ツ)

計眼鏡

トキワヤ 三三九
トキワヤ 三三九

一冊の代金

御希望通りな

五冊の雑誌

自由に讀める

川崎回文庫

電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

ほく殺と知つてか

コレラ豚逃ぐ

平署管内初めての發生に

小名濱養豚業者が大恐慌

石城郡勿來町の窪田、酒井等部落には既報の如く豚コレラの發生猛烈を極め既に撲殺四十頭に

及んで、居るので平署でも管内の發生を懼れ極力警戒中昨日小名濱町に豚コレラ一頭發生し撲殺せんとした處矢庭に逃走何處へむぐり込んだか行衛不明となつたので大騒ぎとなり右保菌豚を捜索すると同時に本日

平署の 土屋獸醫が出張し同町及び附近村落の豚移動を嚴禁する等の大警戒を行つてゐる

平町の...

白米値下

豊作見込で

既報平地方に於ける稲作は今後暴風雨のない限り愈よ豊作見込確實となつたので産米取引益々低價しつゝある結果平町の白米小賣商組合では昨廿五日より一キロに付五厘の値下を行つたが新小賣値は左の如くである
△上白米 一キロ 十六錢

附近の移動嚴禁

△中白米 同 十五錢五厘
△並白米 同 十五錢

殺人事件

判檢事が檢證

既報石城郡小名濱町古港居住信夫郡笹木野村生れ魚行商月山嘉信(三)が本年六月

鐵橋から ブラ下る

身元不明の爲め 屍体を村役場に

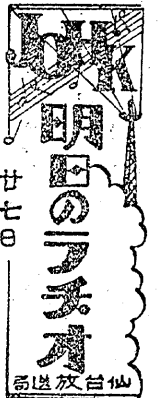
男の

石城郡赤井村大字高萩字下代地内小玉川鐵橋下に昨廿五日午後四時頃白カスリ單衣を着した住所姓名不明年齢五十八才位の男が橋梁から麻繩を

野菜を満載した

トラックが轉落

石城郡上遠野村大宗自動車店方運轉手鈴木次郎(三)は昨廿五日午後六時頃トラックに野菜満載して中村町に



今晩も明日も北東の風晴れたり曇つたり

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
獨唱 永岡志津子 伴奏 東京サロネーケストラ
後六、三〇 夏期英語講座
(二) 毛利八十太郎
後七、三〇 講演「濱口前總裁を偲ぶ」 俵孫一
後八、〇〇 長唄名曲演奏
「秋の色種」 唄 杉屋勝五郎
三味線 杉屋佐吉 同 杉屋佐三郎
後八、三〇 獨唱「ふるさと」 其他 平間文壽
後九、〇〇 映畫物語「ブ

明日の部

レジャンの船唄 泉天嶺
後九、三〇 時報 全國ユース 氣象通報 番組
後六、三〇 家庭教育講座
「特殊兒童の教育即ち天才兒と劣等兒の教育に就て」 奈良女子師範學校教授 西本三十二
前七、〇〇 エスベラント講座(十一) 日本エスベラント學會國際常設代表 藤靜太郎
前七、三〇 夏期兒童講座

放火二つ

けふ公判延期

既報石城郡内郷村大字高坂字高橋一番地無職齊藤梅代(二) 假名及び双葉郡熊町村大字石澤字大藏谷地二百一十一番地農青戸初衛(三)の兩放火事件は本日平支部公判

金棒を振つて

女房と養母を 殺害せんとした

事件十三日公判

既報石城郡四倉町字仲町沼田はなの長女きみ(三)の婿である同郡大野村大字戸田字諏訪生れ大工職吉田重男(三)が本年五月二十日別れ話から憤慨し女房及び養母を鐵棒を揮つて

水道祝賀

また延期

既報平町上水道擴張工事竣工式は今月未關係者多數を招待して盛大に舉行すべく計画中であつたが今月末廿七日よりは縣會が開かれ終了後も知事内務部長の臨席は覺束ないので舉式を來月中旬頃まで延期する事になつた

青年時局講演 石城郡上小川村青年訓練所生徒は昨廿五日午前八時より同村小學校に於いて校長田久徳次郎氏より時局に關する講演を受けた

自稱著述業

平驛で捕る

平町紺屋町旅人宿清水屋事根本シン方に本年四月廿日より六月廿日迄滞在した自稱福島市道場塚一一生れ著述業士井利周(三)は前記二ヶ月に亘る宿料五十圓餘を踏倒して逃走したが昨夜九

けいこ一終 外山國彦
後六、三〇 山と海の講座
「佐渡の海岸景觀」 徳重英助
後七、三〇 講演「漁船の遭難と氣象放送」 志野徳助
後八、〇〇 連續講談「河原の撫子」 終席 大島伯鶴
後八、三〇 通俗音樂「ハルモニカ四重奏」 第一ハルモニカ 川口章吾 第二ハルモニカ 荒木東洋彦 ハルモニカチエロ木村繁
後八、四五 通俗音樂「マンドリン合奏」 慶應義塾マンドリンクラブ 指揮 服部正
後九、〇〇 寶生流謠曲 俊寛武田喜夫社中
後九、三〇 滿洲より「北滿水害事情に就て」

平職界紹介所報告
回求人の部
△兒守 十七才迄 尋卒
月四圓(四倉町某)
△女中 十八才 尋卒 給料面談(平町某)
△自轉車工見習 二十才以下 尋卒 月三圓位(平窪村某)
回求職の部
△商店雜役 十九才 尋卒 給料面談(平町某)
△出前持 十七才 尋卒 給料面談(好間村某)
△雜夫 二十四才 尋卒 給料面談(伊達郡某)
△土工夫 二十九才 尋卒 給料面談(青森市某)
△旅館番頭 二十三才 中四修給料面談(湯本町某)

豪傑剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒 圓玉 演
近藤 藤 紫 雲 畫

第三百三十五席 真庭念流の達人櫻井五助

峰吉銚子に逃げる

権「林藏を竹槍で突いたはお主だナ、あゝとんだ事になつた、南無阿彌陀佛、南無阿彌陀佛」

峰「何んで親分はお念佛なぞを唱へなさる」

権「イヤおめえの首が段々細くなつて来た、この四五日影が薄いやうだ、何ぞ凶事があるかと心配してゐたが、とうとう茲へ凶事がわき出した」

峰「それは親分どんな事でごいいます」

権「おめへは秋山先生を知つてゐるか」

峰「知つて居ります、あれは林藏には剣術の先生でございませう、元川越様の家來で亂暴をした爲に浪人して長脇差の許を廻つて剣術を教へて先生々と敬まはれて居ります、玉に蓮とでも云ひませうか身持ちが悪く大した腕がありながら今以て浪人で諸方を飛び歩いて居ります、その秋山先生がどうかしましたか」

権「秋山先生には別状は無え、相變らず元氣だ、その秋山先生が今日訪ねて来よ」



峰「エッ、秋山が来ましたと、そいつは悪い奴が来たナ、然し私が此處に居る事は知りますまい」

権「それを知つてゐた、神崎の友五郎の所に先生が居た時に旅人の話でおめへがと云つた、スルと秋山先生が大層喜んであれは上尾の足立屋で林藏を殺した者だ逆縁ながら門人の仇討を致す、峰吉を首にすると思つた」

権「常陸屋に行つて休息してゐなさる、峯吉の戻つた頃に又出て来ると云ひなすつた、何にしろ茲一年あま刀に血を塗らねえから何んとなく物足りねえ、それで峯吉を斬つて刀に血を吸はして遣りてえと云つてゐるさうだ」

権「そんな理窟はこの縁業に融通はしねえよ、秋山先生はおめへを憎い奴と思ひ是非共首にすると思つた、それも一と思ひにズバリと斬らねえ、最初は右の腕を斬つて今度は足を斬りそれから耳を斬り鼻を斬りさうざん苦しめた上に首を落すさうだ」

権「これはいよいよ大變、どうぞ親分助けておくんない」

権「俺もナおめへを殺させるは誠に哀れだ、何とかして助けて遣りてえものと先生に詫たがどうしても勘辨しねえ、この上はおめへを逃すより他に助ける道は無え今の内に草鞋を穿いて奥州へでも行くが宜い」

権「ところが茲當分旅に出る事は出来ません、何故出来ねえといふに脚氣で五六丁歩くと足は鐵のタガを箆めた様に重くなりまして」

権「そいつは困るナ、何だつて今頃脚氣などを踏出し、贅澤な奴だナ」

権「贅澤で病氣になつたわけではございません、天然自然と脚氣が出ました」

権「天然自然などといふ化物は飛んだ所へ現はれたものだ、それではどうしろ、

さうといふ考へがあつたわけでは無え、足立屋へ行つた時に二階から飛び下りた林藏がわたくしの前に立つた、それでズバリと遣りました、シテ見れば此方が殺した譯では無え、向ふが勝手に死んだものでござんせう」

権「そんな理窟はこの縁業に融通はしねえよ、秋山先生はおめへを憎い奴と思ひ是非共首にすると思つた、それも一と思ひにズバリと斬らねえ、最初は右の腕を斬つて今度は足を斬りそれから耳を斬り鼻を斬りさうざん苦しめた上に首を落すさうだ」

権「これはいよいよ大變、どうぞ親分助けておくんない」

権「俺もナおめへを殺させるは誠に哀れだ、何とかして助けて遣りてえものと先生に詫たがどうしても勘辨しねえ、この上はおめへを逃すより他に助ける道は無え今の内に草鞋を穿いて奥州へでも行くが宜い」

権「ところが茲當分旅に出る事は出来ません、何故出来ねえといふに脚氣で五六丁歩くと足は鐵のタガを箆めた様に重くなりまして」

権「そいつは困るナ、何だつて今頃脚氣などを踏出し、贅澤な奴だナ」

権「贅澤で病氣になつたわけではございません、天然自然と脚氣が出ました」

権「天然自然などといふ化物は飛んだ所へ現はれたものだ、それではどうしろ、

内小科 藤沼醫院

花柳科 柳科 科病
院醫沼藤
應需院入
平電 町七話 五〇番 屋紺町

市原醫院

平町 田町
電話 一一四番

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科
平南町 (電話一七〇番)
大和田醫院

度量衡、計量器、吸入
用酸素、酸素吸入器
關内藥局
電話四〇番



玉屋洋品店
平町田町通電話六五六番

木村病院

外産婦人科
平新川町十九
電話一六四番
院長 木村寅次郎
婦人科 醫學士 内木宗八